

令和7年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(松原地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
1	新体育文化施設について	新体育文化施設の建設にあたって基金を設置する意味について教えてほしい。	①建設にあたっては国の補助金・交付金等の確保に努めますが、どうしても一般財源が大きくなりますので、特定目的の基金を設置し前もって整備時期に合わせて貯金を確保をすることになりました。積立の金額や時期についてはボートの繰入状況や市の財政状況をみながら年度毎に決定したいと考えております。 ②市役所を建設するために20～30年前から市役所整備基金があり17億円貯まっています。市役所の建設費は当初134.5億円の予定でしたが資材高騰により現在概算で179億円になっています。市民の皆様には負担をかけないようにボートからの繰入金をこの基金に加え現在121億円の基金に積んでいます。建設に必要な額(58億円)については、国の財源を活用できないかボートの繰入金を積み増すかは検討中です。大きな建物を建設する時は支出も大きくなることから、基金を設置し貯金をしておきます。新体育文化施設も何十億、場合によっては百億円に達するかもしれません。小中学校の建て替えと額が違うので基金を設置するということです。参考までにボートの基金についてはH30年度にモーターボート競走事業収益基金を設置し、公共施設の建て替えや改修にしか使用できないようにしています。	①総務部長 ②市長	新庁舎整備室	総務部長回答のとおり
2	小型家電回収について	小型家電の回収にあたり、個人情報の取扱いが気になるかどのように考えているのか。	チラシにも記載をしておりますが、まずは個人情報には必ず消去のうえ投入していただくようしっかり周知を行いたいと思います。また、回収ボックスは、施設内に設置しており、部外者の方が勝手に取り出すことができないようにしております。	市民環境部長	環境センター	市民環境部長回答のとおり
3	野岳湖の整備について	野岳湖の外周道路について、現在交互通行をしなければならないほど狭い箇所がある。今後の整備計画において、どれくらいの幅で整備を検討しているのか教えてほしい。	今回の計画では県道～裏見の滝付近の約2.3kmの整備を検討しています。基本的には車が安全に離合でき、歩行者や自転車も安全に通行できるスペースを確保できるよう計画しています。現時点ではあくまで基本計画であり、詳細については測量等を行って、幅員等も決定していきたいと考えております。	都市整備部長	河川公園課	都市整備部長回答のとおり
4	野球場について	長崎、諫早、佐世保には硬式ができる野球場があるが、大村にもぜひ硬式野球場ができる球場ができてほしい。	市長就任時に、市営球場を硬式に対応できるよう改修できないか協議を行いました。現在の市営球場を硬式野球場に改修するためには、野球場周辺道路を潰すような大規模な改修が必要であることが分かり、今できる対応として、現状で思い切り(軟式)野球をしてもらえよう、土の入れ替えを行うなどできる限りの対応を行いました。 また、黒丸総合運動公園に野球場を作る計画はありましたが現在は未定となっています。 ソフトボールにはなりますが、日本女子代表(宇津木ジャパン)が来年1月に本市で合宿をしていただけることになっています。子供達がプロのアスリートに触れる機会は今後も作っていきたいと思います。	市長	スポーツ振興課	市長回答のとおり
5	人口減少対策について	諫早市は4年連続で人口が社会増(転入超過)と聞いた。工業団地を造成し企業を誘致すること、農振地域に縛られずに大村でもできないか。	①諫早市の人口は自然減で減少しているものの、転出を転入が上回っている状況だと思います。本市においてもR2年度から自然減となり、生まれてくる方より亡くなる方が多い状況になりました。ですので、現在は社会増の割合が大きく人口が増加していると思われます。企業誘致ということでは、H30年度に雄ヶ原に第2大村ハイテクパークを整備しています。先月には全区画が完売となり、いったん工業団地の整備は一区切りとなります。 本市では諫早市のような市街化調整区域の設定をしていなかったもので、宅地開発が進み結果的に住宅が増えました。現在諫早市では市街化調整区域の設定を見直そうとされていますが、周辺の他の自治体との広域で設定されているため協議に時間がかかっているのではないかと思います。 ②農振地域の見直しはこれとは別問題で、県の同意を受ける必要があります。農地の整備等に国の補助金が入っているため、さらにハードルが高くなります。民間主導でまとまった具体的な開発計画であれば、諫早市の事例のように認められる可能性はあると思います。	市長	①企画政策課 ②農林水産振興課	①市長回答のとおり ②工業団地の造成のような開発行為を行う候補地に農業振興地域内農用地が含まれる場合は、除外するに足りる要件を満たしているか確認し、県の同意も必要です。 なお、ハイテクパークのある雄ヶ原町のように農業振興地域外のエリアや、農業振興地域内であっても農用地として区域指定されていない土地である場合、その手順は不要となります。

令和7年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(松原地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
6	地域包括支援センターについて	松原地区は市全体より高齢化率が高い。地域包括支援センターは市内に1箇所しかない。諫早市や雲仙市では出先機関も含めて複数あるので、本市においても増設できないか。	本市の包括支援センターはプラットおおむら内にあります。今後新庁舎が整備された際には、新庁舎には包括支援センターではありませんが、相談できるような体制を整えたいと考えています。その状況をみながら包括支援センターの増設については検討していきたいと思っています。	福祉保健部長	長寿介護課	福祉保健部長回答のとおり
7	スポーツ施設の管理について	北部運動広場の指定管理者として松原地区町内会長会が年間を通してグラウンドの維持管理を行っている。またグラウンドゴルフ愛好会等の団体の協力を得てグラウンド整備を実施している。昨年の北部九州総体では、ソフトボール競技の練習会場として使用された。しかしながら隣接する企業側のフェンスが低いため、バックネット側から練習をした際、ファウルボールが敷地内に飛び込み、窓ガラスが割れるという事案が発生した。このためこの低いフェンスを道路側と同等の高さまで、かさ上げをお願いしたい。	昨年の男子ソフトボール競技の練習中に窓ガラスが割れる事案が発生し、ご迷惑をおかけしました。市のスポーツ施設は現時点で20箇所あります。このうちの半分近くが老朽化していますが、今後、陸上競技場の全天候型や古賀島スポーツ広場の人工芝張替え、新たなプール整備等の大型の整備改修工事を控えております。その状況でフェンスのかさ上げはすぐには難しい状況であり、今後しっかりと整備計画を立てながら整備できればと考えています。このため、当面の間は窓ガラスが割れないような練習方法をとっていただく等、できることから対応させていただきたいと思っています。	市民環境部長	スポーツ振興課	市民環境部長回答のとおり
8	自主防災組織について	自主防災組織の立ち上げや訓練に対する補助金について説明してほしい。また、今年は実動形式での市の総合防災訓練がどのように実施されるのか教えてほしい。	R6年度から自主防災訓練の活動交付金を交付しています。参加人数に応じて、3万円～5万円を交付しています。R5年度に訓練を実施した組織は30でしたが、R6年度は43に増加している状況です。今年度の大村市総合防災訓練については、9月28日に竹松駐屯地で開催するように準備を進めています。大雨と地震が同時発生したという想定で、6年ぶりに実動訓練の形で実施いたします。内容としては、能登半島地震の教訓活用とのことで自衛隊や消防署による訓練のほか、市民の方には見学していただいたり、体験訓練にご参加いただく形になります。後ほど各町内会長様にはご案内を差し上げる予定ですので、その際はぜひご参加をお願いします。	総務部長	安全対策課	総務部長回答のとおり
9	危機管理について	以前大村市役所に危機管理課という部署があったが、機構改革を経て現在はその部署がなくなっており、残念に思っている。そこでまず伺いたいのが、危機管理の基本について教えてほしい。	危機管理の基本は、まずは備えることだと思っています。日常から災害等の突発的な出来事に備えておくことで、何か起こった際に対応できるよう備えておくことが必要だと思います。	総務部長	安全対策課	総務部長回答のとおり
10	捨て猫について	猫が勝手に住みついたりすることで困る人がいるが、どこに相談したらいいのかわからない。野良猫を捕獲したい場合はどうしたらいいのかわからない。	市の窓口として、環境保全課にまずはご相談いただければと思います。R5年度には県で条例を制定されています。中身としては飼い主がいなくても猫への餌やりがルール化されていることが一番大きいポイントです。そのほかに去勢や地域猫などの様々な方法がありますので、まずは相談していただき状況に応じてどのような対応ができるか一緒に考えたいと思います。野良猫については猫の捕獲器もありますので、地域にとって最適な方法を一緒に考えて行ければと思います。	市民環境部長	環境保全課	市民環境部長回答のとおり
11	遺跡について	市外に住む方から野岳には遺跡があることを聞いた。この遺跡について今でも研究をされているのか、深澤儀太夫勝清などの野岳の素晴らしい歴史をもっとPRできればいいと思う。	①市内では竹松地区の黒丸遺跡が大規模に集落が広がっていたので注目がいっています。市内北部地区で開発が進み、昔の様々な出土品が発掘されているためクローズアップされています。市内には様々な遺跡があり、野岳遺跡のクローズアップはこれまではできていなかったと思います。各所のバランスも考えながら、今後どのようなことができるのか考えていきたいと思っています。 ②深澤儀太夫勝清については、小学校でも副読本を制作しており、3年生の地域学習で学ぶようになっていますので、子供のうちから知らせていきたいと思っています。	①教育次長 ②教育政策監	文化振興課 学校教育課	① 野岳遺跡については、研究者井手寿謙氏の業績と併せ、大村市歴史資料館の常設展示でコーナーを設けて紹介しています。調査については、市内遺跡発掘調査事業の一環として、開発行為等に対応して適宜発掘調査等を実施します。 ②教育政策監回答のとおり

令和7年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(松原地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
12	防災無線について	防災無線を地区限定で行うことができるのか。	地区別ミーティングの開催について、本日午後6時に防災無線を活用して松原地区に周知しております。	市民環境部長	地域げんき課	市民環境部長回答のとおり
13	鹿の島について	鹿の島を公園化してもらえないか。中世紀頃にできた古墳が11基あるという話を市の文化振興課より聞いた。公園化して保存してもらえないか。	①鹿の島については、保安林の指定がなされています。保安林を解除するには相応の理由が必要になります。今後どのようなことができるのか改めて市内部でも検討させていただきたいと思います。 ②公園化等については、持ち帰って市学芸員と検討したいと思いません。	①農林水産部長 ②教育長	①農林水産整備課 ②文化振興課	① 鹿の島については、市有林であり保安林に指定されています。そのため、伐採や土地の形質の変更などが規制されますので、公園開発は困難と考えております。 ② 古墳等の埋蔵文化財の保護は、現状を維持して保護することを原則としており、公園開発は遺跡に影響を与える行為となります。鹿の島についても、現状保存を原則として考えています。